

<p><b>1 学校教育目標</b></p> <p><b>校訓</b> 至誠一貫・進取向上・自治協同</p> <p><b>教育目標</b> 「文武一徳」の人づくり 知性を磨き体を鍛え、徳の備わった、社会のリーダーたる人材の育成</p> <p><b>めざす学校像</b> 『進学も部活動も元気な、生徒が主役の学校』 部活動の盛んな進学校として、地域から愛され、信頼される学校をめざす</p> <p><b>育てたい生徒像</b> 1 高い志と使命感をもった、社会に貢献できる生徒 2 心身を鍛え、何事にも積極的にチャレンジできるたくましい生徒 3 互いに協力しながら、主体的に行動できる生徒</p>
---

<p><b>2 現状分析</b></p> <p>文武両道の校風のもと、全人的発達を目指した教育を伝統的に進めており、その教育方針については生徒・保護者・地域において評価されているが、近年の進学実績、部活動の対外試合結果において、前年度を下回っている。ただし、生徒・保護者アンケートでは、本校の目指す教育を好意的に評価いただいており、今後は、入学生の学力、伝統の校風を維持発展させるためにも、生徒の学力伸長のための具体的手立てや部活動の活性化を学校全体で取り組んでいく必要がある。また、生徒一人ひとりの抱える環境や問題に対応した個別の指導も進めていく必要がある。</p>
--

<p><b>3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題</b></p> <p>【平成25年度の重点目標】 ① 学習習慣の確立と学力の向上 ② 第一進路希望の実現 ③ 部活動・学校行事等の活性化 ④ 積極的な情報発信</p> <p>【平成25年度チャレンジ目標】 「凡事徹底」 ① 自分の役割を自覚し本分をつくそう ② 主体的に何事にもチャレンジしよう ③ 責任のある行動をとろう</p>
--

4 自己評価					5 学校関係者評価		
評価領域	重点目標	具体的方策 (教育活動)	評価基準	達成度	実践目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等	評価
教務	学習習慣の確立	適切な課題を課し適切な評価することにより、学習習慣の確立をはかる。	4: 適切な課題を課し、適切な評価をすることで、学習習慣の確立につながった。 3: 適切な課題を課し、適切な評価をしたが、学習習慣の確立につながらなかった。 2: 適切な課題を課したが、適切な評価をすることができなかった。 1: 適切な課題を課さなかった。	3	(1) 適切な課題を課し、適切な評価をすることは100%できている。 (2) 課題を課すことが学習習慣の確立につながったが33%、確立につながらなかったが67%であった。 以上のことから、課題は十分に課されているといえる。しかし、学習習慣の確立にまでつながっていることについては不十分である。	・学習習慣の確立と学力の向上、重点目標に対し授業アンケートでは成果が見られた。教員の取組に対して、生徒の学力向上・学習習慣への意識が低いと思われる。生徒の意識向上を目的とした取組を期待している。 ・生徒達の学力の向上を図るための授業改善は、今後も積極的に取り組んで欲しい。	B
	学力の向上	研究授業・互見授業を通して授業改善をはかり、学力の向上につなげる。	4: 研究授業・互見授業を行い、授業改善をはかることができ、学力の向上につながった。 3: 研究授業・互見授業を行い、授業改善をはかることができたが、学力の向上につながらなかった。 2: 研究授業・互見授業を行ったが、授業改善に結びつかなかった。 1: 研究授業・互見授業を実施しなかった。	3	(1) 研究授業・互見授業を行った割合は97%を超えている。 (2) 授業改善につながった割合は92%を超えている。 (3) 学力の向上につながった割合は28%を超えた程度であった。 以上のことから、研究授業・互見授業により概ね授業改善ができていているといえるが、学力向上にまでつながっていない。		
生徒指導	自転車通行マナーの徹底	自転車点検を実施する。 交通安全教室を実施する。 登校指導を実施する。 全体集会で諸注意をする。	4: 十分指導ができた。 3: ほぼ計画通り指導ができた。 2: あまり計画通り指導ができた。 1: ほとんど指導ができなかった。	3	(1) 「1学期当初・3学期の自転車点検」、「交通安全協会との連携による自転車点検」を行い、整備の徹底がほぼできた。 (2) LHRにおいて全校生徒を対象に、JAFの指導による交通安全教室を開いた。 (3) やむを得ない都合により、実施できない場合もあったが、個別に交代することで対応し、ほぼ毎日実施することができた。また、生徒による啓発活動も行った。 (4) すべての全校集会において、生徒への諸注意をする機会を持つことができ、繰り返し注意を促すことができた。	・自転車通学生徒の交通安全指導をお願いしたい。 ・長府地区で実施されている多くの行事等において、豊高生徒達のボランティア活動は、ありがたい。今後もお願いしたい。 ・様々な問題を抱えた生徒の教育相談を今後も継続して欲しい。 ・部活動の成果だけでなく、挨拶もよくできている。今後も期待している。 ・生徒や保護者の学校評価アンケート結果と結びつけた評価が良いと思う。	A
	基本的な生活習慣の確立	登校指導を実施する。	4: 毎日実施した。 3: ほぼ毎日実施した。 2: あまり実施できなかった。 1: ほとんど実施できなかった。	3	やむを得ない都合により、実施できない場合もあったが、個別に交代することで対応し、ほぼ毎日実施することができた。		
	精神的健康の保持	担任の活動を尊重して、生徒と担任の関係をサポートする。	4: 担任のサポート役として機能した。 3: 担任と情報を共有した。 2: 担任との連絡が不足していた。 1: 状況を放置した。	4	問題を抱えた生徒や保護者と、担任とともに面談を行い、解決に向けて充分協議した。		
進路指導	初期指導の徹底	入学後の学習習慣の確立につながる取り組みを実施する。	4: 十分な実施ができた。 3: ほぼ実施ができた。 2: あまり実施できなかった。 1: ほとんど実施できなかった。	4	今年度より導入した初期指導を当初の計画通り実施することができた。生徒へのアンケートを見ても良い評価を受けているが、学習習慣の確立がしっかり出来たかについては、不十分なところがある。次年度に向けさらに改良を加える必要がある。	・新しい取組を行うことで、生徒の学習への意識が高まり、持続して学習が行えることを期待します。 ・生徒の進路希望が達成できる指導が大切と思うので、指導をお願いしたい。	B
	進路情報の提供の充実	進路資料室の資料充実、進路新聞の発行などで情報の提供を行う。	4: 十分な実施ができた。 3: ほぼ実施ができた。 2: あまり実施できなかった。 1: ほとんど実施できなかった。	3	進路に係わる資料を少しずつ加えながら、生徒の進路係にも整理整頓の仕事任せ、進路指導室の活用度が上がるよう工夫をした。また、パソコンを設置し情報収集ができる環境を整備した。進路新聞も月に1回発行できた。		

総務	学校安全の徹底	学期ごとに施設設備点検を実施する。	4: 施設設備点検実施率が90%以上であった。 3: 施設設備点検実施率が70%以上であった。 2: 施設設備点検実施率が50%以上であった。 1: 施設設備点検実施率が50%未満であった。	4	各学期に全教員が担当掃除区域ごとに安全点検を実施した。不良箇所については事務室の協力により補修ができ、安全な学校生活ができる環境になった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の学校評価アンケート結果からも、情報発信についての評価は、前年度より向上している。これからも、本年度の重点目標にあるように積極的な情報発信を行い、開かれた学校づくりを進めて欲しい。</li> <li>・評価方法が、学校評価アンケートと結びついていて分かりやすい。</li> <li>・子供達の読書離れを減らすように努めて頂きたい。</li> </ul>	A
	情報提供の充実	分かりやすいホームページで、学校情報の整理・発信を行う。	4: 学校評価アンケートの学校情報発信に関する項目（質問1）で評価2以上が80%以上であった。 3: 学校評価アンケートの学校情報発信に関する項目（質問1）で評価2以上が60%以上であった。 2: 学校評価アンケートの学校情報発信に関する項目（質問1）で評価2以上が40%以上であった。 1: 学校評価アンケートの学校情報発信に関する項目（質問1）で評価2以上が40%未満であった。	3	昨年度、豊浦高校ホームページを新しく作製し、きれいで見やすいホームページになった。また、ホームページ担当者会議も6回実施し、内容の更新・充実を行った。		
	図書室利用の促進	生徒・教職員のニーズに応じた資料を整え、貸出の増加を図る。	4: 昨年度より貸出数が大幅に増加した。 3: 昨年度より貸出数がやや増加した。 2: 昨年度と貸出数が同じであった。 1: 昨年度より貸出数が減少した。	3	ベストセラーを中心にドラマ化されたもの等生徒・教職員の希望する本を多く入れているため、貸出数の増加につながった。		
保健体育	体力の向上	スポーツテストの総合判定においてA判定が1年生15%以上、2年生25%以上、3年生35%以上を目指し授業の充実を図る。	4: 3学年とも目標以上であった。 3: 2学年において目標以上であった。 2: 1学年において目標以上であった。 1: 全学年とも目標に達していない。	4	本校は運動部の活動が盛んであり、体育の授業においても豊高体操を始め体力を養う場面が多く、体力・運動能力の向上が顕著である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力面は、部活動の結果をみてもよく分かり、今後も体力の向上をお願いしたい。</li> <li>・虫歯の治療率が低い。家庭の問題もあると思うが、治療するような指導を部活動でもお願いしたい。</li> </ul>	B
	健康の保持増進	虫歯未治療者に治療勧告を学期ごとに実施する。	4: 治療した者が70%以上であった。 3: 治療した者が50%以上であった。 2: 治療した者が30%以上であった。 1: 治療した者が30%未満であった。	2	歯の治療に対する健康意識が低い生徒が多い。部活動が盛んなために、受診時間の確保が難しい生徒が少なくないと思われる。		
1年	基礎学力の定着と進路目標の設定	チャレンジタイム、大学見学、学習時間の記録等をきっかけにして、学習の習慣化・進路目標設定を図る。また、文武両道を目指し、部活動への参加を呼びかける。	4: 年間を通して十分な指導が出来た。 3: 年間を通してほぼ十分な指導が出来た。 2: 年間を通してあまり指導が出来なかった。 1: 年間を通して全く指導が出来なかった。	3	今年度の新しい取り組みを通して、生徒の基礎学力の定着と進路目標の設定をほぼ図ることが出来た。ただ、時間の経過と共に学習や進路実現に対する意識が薄らいでいったように思えた。更なる学習時間の確保や進路実現を継続的に意識させる取り組みが必要であった。ほとんどの生徒が文武両道を目指し部活動に加入した。部活動加入率は、97%であった。（未加入者は5名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習時間を増加させる取組は非常に難しいが、学力向上のためには絶対に必要である。進路指導の充実などいろいろな角度から指導し、生徒の意識を高めて欲しい。</li> <li>・大学進学が全てではなく、その先にあるものを考えさせる取組をお願いしたい。</li> </ul>	B
2年	生活スタイルの再構築と学習指導の徹底	学習や部活動で十分な成果が出せるように生活スタイルを再構築させて、予習・復習を中心に家庭学習を徹底させる。	4: 家庭学習時間が、1年次に比べ大幅に増加した。 3: 家庭学習時間が、1年次に比べ増加した。 2: 家庭学習時間が、1年次に比べやや減少した。 1: 家庭学習時間が、1年次に比べ大幅に減少した。	3	自己の進路を意識した勉強を始めた者は、部活動との両立を考え、生活スタイルを再構築させて学習時間が増えている。進路意識はあるが、部活動を担う立場となり、生活の中で部活動の比重が増して、時間の整理ができず、生活スタイルの再構築がなされずに学習時間が少なくなっている者も少なくない。増加した者と、極端に少ない者との二極化が進んでいる。	B	
3年	よく学びともに鍛えん 学力の向上と生きる力の育成	学ぶ力を自ら身につける。大学受験に立ち向かう集団をつくる。進路指導の徹底を図る。	4: 年間を通して十分な指導が出来た。 3: 年間を通してほぼ十分な指導が出来た。 2: 年間を通してあまり指導が出来なかった。 1: 年間を通して全く指導が出来なかった。	4	自ら学ぶ姿勢が身に付き、進路意識は格段に向上した。大半の生徒は、大学受験に真摯に向き合った。		
業務改善	業務の効率化	各種会議時間を短縮し多忙感の解消を図る。	4: ほぼ全ての会議が1時間以内に終了した。 3: 約8割の会議が1時間以内に終了した。 2: 約6割の会議が1時間以内に終了した。 1: 1時間以内に終了した会議は、6割未満であった。	2	大半の会議は、概ね勤務時間内には終了した。今後多忙感の解消を図りたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善については、業務の効率化ができるものと出来ないものがある。生徒と関わる部分については十分に時間を掛けてもらいたい。</li> </ul>	B
	職員の健康管理	健康診断結果に基づいた健康管理を行う。	4: 再検査者の受診率が、100%であった。 3: 再検査者の受診率が、80%以上であった。 2: 再検査者の受診率が、70%以上であった。 1: 再検査者の受診率が、70%以下であった。	2	このことについては、2月の衛生委員会でも指摘があり、年度内に再検査の未受診者へ再検査を促した。		

## 6 学校評価総括（取組の成果と課題）

【教務】 互見授業に加えて今年度より研究授業を行うようになったことで、授業改善は進んだといえる。授業アンケートで授業がわかりやすいと回答した生徒の割合が昨年より増加していることからそういえる。ただし、そのわかりやすさが学力向上と結びついていない状況もみられる。学習習慣の確立は、家庭学習定着を目指して適切な課題を課すことをおこなったが、解決できていない。課題を課してもやっばり、他人のものを写すといった状況を改善し、家庭学習の確立に結びつく課題の出し方、評価について工夫していく必要がある。

【生徒指導】 組織的、計画的な指導や繰り返しの指導、早期対応の指導により、各種問題を最小限に抑えることができた。交通安全に関しては、引き続き生徒の意識を高揚させることが必要である。基本的な生活習慣については、自ら考え、社会の一員であることを自覚した生き方を見出すよう指導したい。精神的に弱い生徒に対し、学校カウンセラー等、教育相談室がよく機能したことで、様々な問題が概ね解決したが、問題が年々増加傾向にあり、これからも継続した指導体制が必要である。また、家庭での指導が解決に支障をきたしたり、教員間の共通理解ができていないことから家庭との誤解を生じた事もあった。

【進路指導】 生徒の変化に対応するため入学時の進路指導として初期指導（豊高チャレンジ）を導入した。チャレンジタイム、大学訪問、家庭学習時間量調査、確認テスト以上4つの内容を実施できた。アンケート等で高評価を得ているが、さらに検討する必要がある。適切な情報を生徒に与え、進路意識の向上につなげていきたい。

【総務】 施設設備の安全点検は毎学期実施し、不良箇所の補修を行った。情報活用能力の向上を図るための校内研修も実施し、セキュリティ意識が高まった。また、豊浦高校ホームページを昨年より新しく作製し、きれいで見やすいホームページになった。ホームページ担当者会議は計画通り開催し、本校ホームページの整理、充実が行われた。図書においては今年も生徒・教職員の希望図書を積極的に購入し、常に新しい資料を提供できるように努めた。

【保健体育】 体育の授業や運動部の活動を通して、体力・運動能力の向上は図られている。歯の治療については、毎学期ごとに治療勧告を行っているものの治療率は上がらなかった。

【第1学年】 学習の習慣化・進路目標の設定を図るために、様々な新しい取り組みを実施した。実施内容は評価されるべきものであったと思うが、生徒全員への徹底を目指しながら進路実現に向けての意識の強化が必要とされる。

【第2学年】 宿題を出せば家庭学習時間は容易に増えるが、自発的な学習とやらされている学習では同じ1時間でも大きな差がある。自発的な家庭学習を促すためには進路に対する目的意識が必要と考え、職業へのアプローチの仕方の情報提供、オープンキャンパス参加と全員レポート提出、適性検査の実施などの取り組みと、担任による個人面談や保護者懇談を通して、進路意識を持たせるようにした。目的意識を持つことができた生徒の家庭学習時間は確実に増えた。

【第3学年】 進路意識の醸成は3年間を通じてなされるものであり、この学年の生徒は受験を団体戦ととらえることが出た。高いレベルで学びたいというトップ集団が厚くなれば、さらに成果が上がったであろう。

【業務改善】 業務の効率化と職員の健康管理は、今後も継続して取り組む必要がある。

## 7 次年度への改善策

【教務】 今年度始めたチャレンジタイムなどの初期指導の充実に加え、適切な課題を課し評価することを通して、家庭学習時間を増やすよう支援していきたい。そして、研究授業・互見授業、授業アンケートの結果を活用しつつ、生徒一人ひとりの学力向上につながるよう授業改善を行っていきたい。

【生徒指導】 自転車事故、自転車マナーの悪さに対する苦情は少なからず残る。根気よく指導したい。特に、「交通安全教室」については、3年周期で形式を変えていく指導を継続していく予定であるが、生徒自身が意識的に交通安全を守るよう指導したい。交通関係、基本的な生活習慣いずれについても引き続き、教職員全員が取り組む体制を図っていききたい。また、学校カウンセラー等、教育相談室の機能も継続して充実した体制を取っていききたい。特に、教員間の共通理解を図ることや家庭との連携のあり方については、力を入れたい。

【進路指導】 今年度から実施した入学時の初期指導を改善し、それにつながる2年次の取組として、難関大学進学希望説明会の早期実施や国立大学見学会の夏期実施を計画している。また、学習時間調査を1年次と同様に継続実施することで、学力の向上に役立てていきたい。なお、新教育課程生の受験対策については、最新の情報を収集し、的確に対応したい。

【総務】 施設設備の安全点検は次年度も毎学期実施したい。情報活用能力の向上を図るための校内研修も毎月実施し、セキュリティ意識を高めたい。また、ホームページ担当者会議を計画し、新しくなった本校ホームページの整理、充実を行いたい。図書においては常に新しい情報を取り入れて生徒・教職員の要望を先取りし本校図書室が読書活動のリーダーとなるようにしたい。また、図書委員による新聞発行も引き続き行いたい。

【保健体育】 体力・運動能力の向上のための積極的な意欲を引き出させながら、ケガ防止のために十分な準備運動と安全意識の強化を図りたい。また、歯の治療については治療勧告の強化や保健便り等の機会に健康教育の推進を図りたい。

【第1学年】 今年度の取組の継続的な実施が望まれる。さらに、学習時間量調査・スタディサポート・模擬試験の資料を活用しながら、進路実現に向けての取組を行いたい。また、生徒の学習に対する取組を改善し、学習時間を確保しながら効果的な学力の向上を図りたい。生徒一人一人に対する呼びかけ・面談等を増やし、個別指導を通して意識改革をしていくことが重要だと思われる。

【第2学年】 意欲はあるが、時間の整理がうまくできず、生活スタイルの構築がなされずに家庭学習時間が少なくなっている生徒への、もっと具体的な指導を、保護者と協力して考えなければならない。

【第3学年】 部活動を通じて学校への所属意識を自覚させて、身心の鍛錬をしながら、学習への意欲を高めていくための指導体制をつくる。早期に学習合宿や大学見学、予備校での学習体験など、保護者も巻き込んだ大学の受験のための準備に取り掛かる。ライバルは全国の受験生だと認識させたい。

【業務改善】 分掌業務のマニュアル化を進め、業務のスリム化を図り多忙感の軽減を行う。